

# フィンランド留学オンライン説明会



(Photo: Suomi Finland)

2020年4月28日（火） 14時～15時

主催：フィンランドセンター

# 内容

- 1. フィンランドセンターとは？
- 2. フィンランドの教育
- 3. 留学についての概要
- 4. フィンランド留学のすすめ

# 1. フィンランドセンターとは？

フィンランドセンターは、フィンランドと日本のScience（学術）、Culture（文化）、Higher Education（高等教育）の3領域において対話を築き、相互協力を推進する政府系文化機関です。

主な事業例：女性のエンパワーメントやAI、トーヴェ・ヤンソンに関わるコンファレンス等（学術）、Ivana Helsinki展、編み物クラブ（文化）、欧州留学フェア他への参加（高等教育）



## 2. フィンランドの「行き止まりのない」教育



- ・総合大学 (*yliopisto*) は、学術研究に取り組み、応用科学大学 (*ammattikorkeakoulu*) はより実践に重きを置いた学びの場。どちらも文系・理系学科がある。



Photo:Suomi Finland

- ・個々の事情に合わせて2~4年間で卒業。
- ・初等・中等教育の目標は、個人・社会の一員としての成長をサポートすること。全国统一試験はないが成績は各先生によってつけられ、個々にあったサポートが行われる。
- ・20時間/週の義務。社会的スキルを習得し小学校入学に備える。特別支援の必要有無も判断。
- ・最低20時間/週の任意。目的は子供の発育とウェルビーイング。



## 2.フィンランドの「行き止まりのない」教育の前提



Photo: Finland Toolbox

### 貧富の差の縮小

- ・授業料が無料（プレスクール～大学院）
- ・世界初（1948年開始）無料の学校給食（プレスクール～高校）

### 学習達成度UP

- ・主体性のある個の育成



Photo: FINLAND TOOLBOX

The Legatum Prosperity Index 2018

フィンランドの教育機会は、平等である。



Photo: Suomi Finland

### 国民のWell-being\*の向上

Well-being\*とは、身体的・精神的・社会的に良好な状態にあることを意味する概念。「幸福」

### Learning Society

「学ぶことを学ぶ」  
“Learning to Learn”  
国民（生涯教育）



Photo: Suomi Finland

# 3. フィンランド留学の種類

学士号・修士号		博士号	その他
半年～1年	1年以上の長期	短期～長期	最大90日間
<p>①交換留学 ：在籍する大学がフィンランドの大学と提携している場合、学内選考等を経て決定。</p> <p>②Visiting Student ：在籍する大学に協定校がなくても単独で出願可能。留学先大学では単位互換も可能。 (※全ての大学・専攻が留学生枠を設けている訳ではないので注意)</p>	<p>正規留学 (学位取得留学)</p>	<p>受入ポストによる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィンランドの大学が開催するサマースクール (2～3週間)</li> <li>・国民成人学校 (<i>kansalaisopisto</i>)</li> <li>・夏季大学 (<i>kesäyliopisto</i>)</li> <li>・大学付属の言語センター (<i>kielikeskus</i>)</li> <li>・労働者教育センター (<i>työväenopisto</i>)</li> </ul> <p>など生涯教育センターでの言語、IT、手芸等講座受講</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィンランドセンター主催カルチャー留学 (春・秋各1週間)</li> </ul>
			
	<p>Photo:Suomi Finland</p>		

# 3. 出願手順について

※参考

秋留学 春留学

前年11月～翌年1月頃\*

前年9月頃

6月頃

11月頃

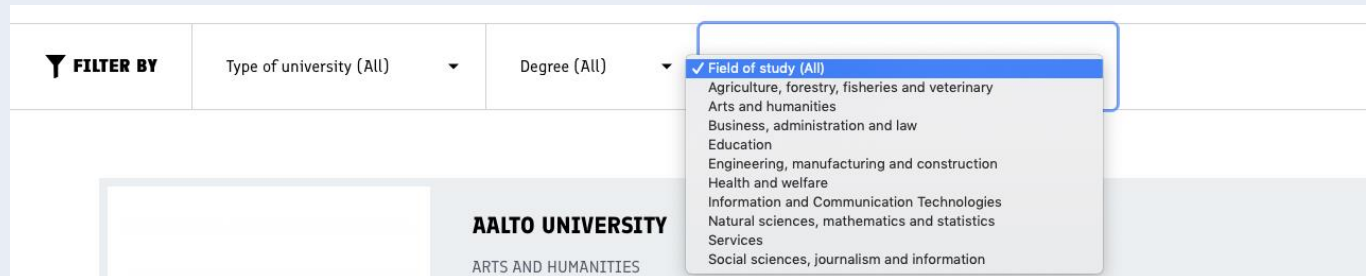
～8月

～12月

9月

1月

1) 留学先大学・コースの選定 (例:studyinfo.fi)



2) 出願

- 各留学先大学を通じて出願 (出願期間は各大学HPを確認ください)
- www.studyinfo.fiを通じて併願 (最大6学科まで併願可能)

(Joint application: 2020年秋～留学 2020年1/8 (水) -/22 (水) )

3) 入学審査結果の確認・入学手続き

4) 渡航準備・出発

5) 新学期の開始

IELTS/TOEFL等の受験および言語要件のクリア  
(IELTS 6-6.5, TOEFL pBT 550-580, iBT 72-92程度)

\*大学・コースによって異なるので最新情報は出願先大学HPを参照のこと。

# 4. フィンランド留学のすすめ

日本から最も近いヨーロッパ！



Photo: [benricho.org](http://benricho.org)

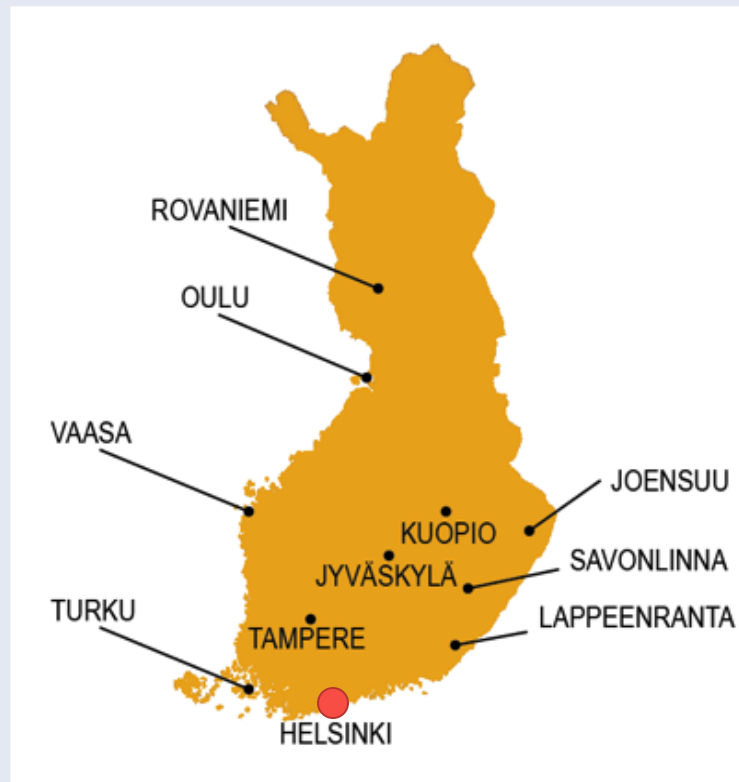


Photo: Finnish Institute in Japan

- 国名: Suomi
- 面積: 33.8万平方km
- 人口: 約550万人
- 通貨: ユーロ
- 首都: Helsinki
- 言語: 2つの公用語  
フィンランド語(約90%)、  
スウェーデン語(約5%)、  
サーミ語(約2,000人)





## 4.フィンランド留学のすすめ ～学習環境～

**450+** : フィンランドの公用語はフィンランド語、スウェーデン語だが、学士・修士課程で英語でのコースが450以上開講し英語での学位取得が可能。

**Teaching Methods** : 一方的な講義のみならず、議論や現場、学生の共同参加をより重視した授業形式。

**Campus Life** : 充実した図書館やスポーツ施設、留学生サポート（チューター制度\*）、学生ユニオンによるレクリエーションなど。

\*チューター制度詳細は留学ガイドブックP.2参照



Photo: study in FINLAND



Photo: Meghan Sired/ Haalarit (Overalls)

## 4.フィンランド留学のすすめ ～生活環境～

国土の78%が森林に覆われ、18万以上の湖沼(10%)が存在し、自然との距離が近い豊かな暮らし。日本にはない極地気候（白夜*yöton yö*・極夜*kaamos*）などの体験も可能。

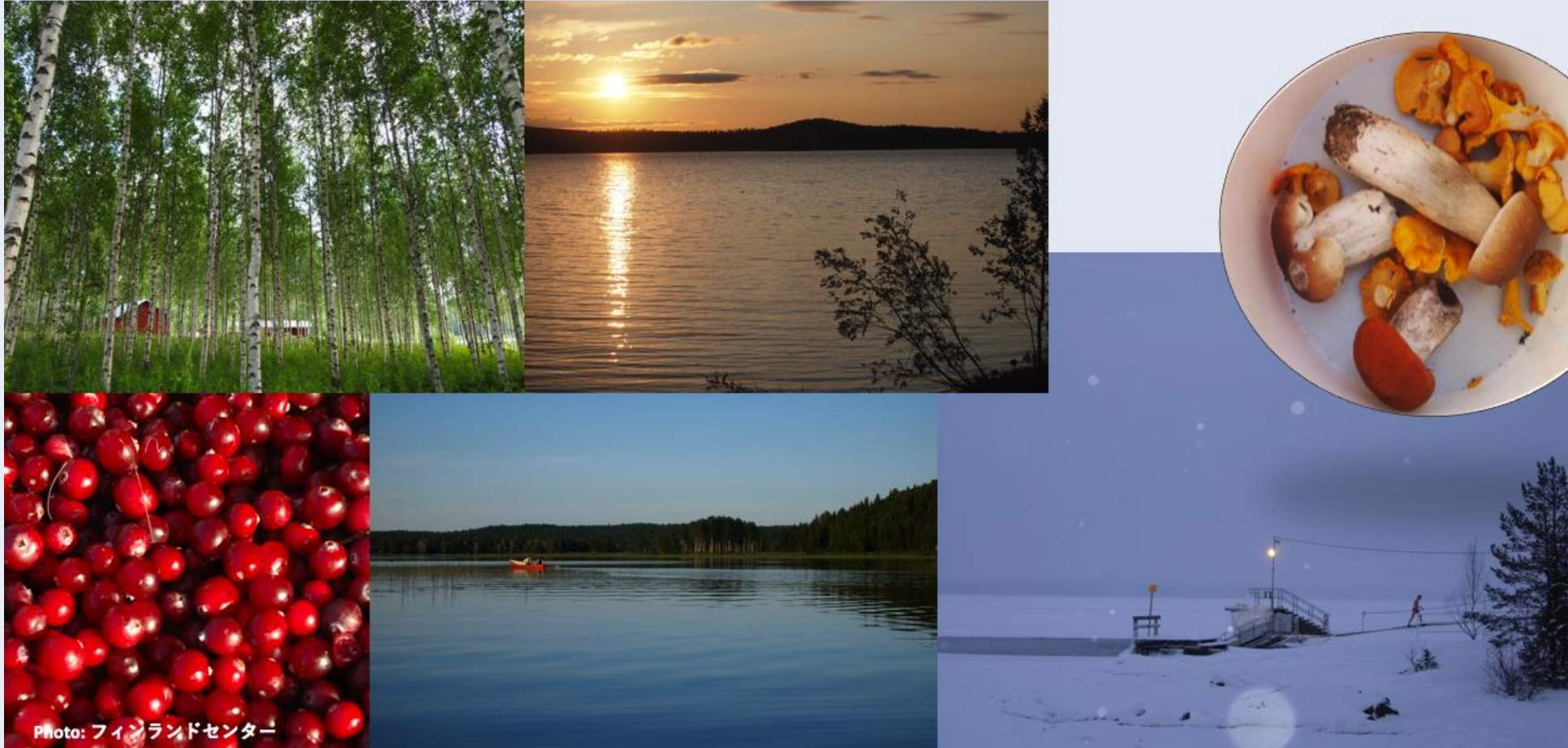


Photo: フィンランドセンター



# まとめ

- 学習環境において魅力溢れるフィンランド。生活者として身を置くことでしか体験できないことがたくさんあります！
- 留学実現のためには、目的・リサーチ・事前準備が必要です。
- 留学体験によって、価値観の変化や将来の進路変更、生涯にわたる自分の内面変化等を得ることができるでしょう。



どこで？何を？どうして？  
どのくらいの期間？どうやって？

自分の過去・現在・未来を照らし合わせながら、  
目的意識を固めて留学準備をし、留学を実現させましょう！！

# Q&A





# Q&A 事前にいただいたご質問への回答（準備編）

• Q1:どんな大学があるか？

• **A**:13の総合大学と  
22の応用科学大学があります。

(注: 2020年1月に22番と29番が合併し  
LABUniversity of Applied Sciencesに  
なりました)

他大学との学術ネットワーク  
(提携) もあり、履修可能な  
他大学の講座もあります。



# Q&A 事前にいただいたご質問への回答（学生生活編）

・ Q2: 学費や生活費はいくらくらいかかるのか？

**A:** 学費：2017年以降、日本などEU/EEA圏外からの留学生に対し、授業料が有償に（ただし、大学・留学形態・学位レベルにより異なる）。

【目安】（出典：studyeu.fi）

約96万円～216万円(€8,000-18,000/年) ※各種奨学金あり

生活費：フィンランドの物価は総じて日本よりやや高め。

ただし、学生に対して学食・公共交通機関料金等に割引措置もあり、留学生にはやさしい国。

【目安】（出典：studyinfinland.fi）

約8万4千円～10万円(€700-900/月)

≒年間100万円～130万円（12ヶ月の場合）

写真：大学学食の例(約300円)



# Q&A 事前にいただいたご質問への回答（学生生活編）

- Q3: 留学生は留学先大学の奨学金制度が利用できるようだが、奨学金の受給資格や枠数でかなり絞られるか？

**A:** フィンランドの大学が提供する奨学金は、出願時に申込みます。大学による正規留学生向け奨学金の取得は寛容な条件のものが多いです。例えば、合格通知からX週間以内に留学意思を通達すればY%減免、1年目は全員50%減免、2年目以降はGPA審査や1年目にZ単位取れば\*%減免など基準は様々です。

# Q&A 事前にいただいたご質問への回答（学生生活編）

- ・ Q4: 現地での学年暦、授業や試験はどんな感じか？

**A:** ・ 学年暦：秋学期 9月～12月、春学期 1月～6月

・ 授業：

- ・ 専攻により主専攻・副専攻、必修・選択科目あり
- ・ 授業形態は、小グループ～講義まで様々
- ・ 同じ地域にある大学で別大学での授業でも単位互換可能。  
ヨーロッパ内外での留学も盛ん。
- ・ 時間割は、授業の回数や時間も授業によるため学生が各自管理。
- ・ 授業時間のない「授業」も。

・ 試験：

- ・ 履修する授業による。

例：個人・グループプレゼンテーション、筆記論述試験、ポートフォリオ、  
ラーニングダイアリー、Book Exam等



# Q&A 事前にいただいたご質問への回答（準備編）

- Q5: 留学前の事前準備は、どのようなことをすれば良いか？

**A:** 専攻分野の勉強・フィンランドでの研究計画立案、英語スコアアップなど。

- Q6: 留学時に日本から持っていくと便利なものは？

**A:** フィンランドで必要なものは大概揃います。

（例：クレジットカード、箸、電気プラグ、水着、3色ボールペン、日本を紹介する何かものなど持っていくと便利でしょう）

生活必需品は1ヶ月の普段の生活で何を使ったか記録してみてもよいかもしれません。

- Q7: フィンランドでの留学中にインターンシップに挑戦したいがどのような方法があるか？

**A:** 大学のメーリングリストやインターネットで探せます。

## Q&A 事前にいただいたご質問への回答（社会人編）

- Q8: 大学入試(学士・修士)に、社会人を対象にした選抜制度はあるか？

**A:** 入試に現役学生・社会人の枠はありません。

- Q9: 社会人で学士卒業後、就職したが大学院を受験したい。学士課程で学んだこと、就職した業種に一貫性がなければいけないのか？

**A:** 必ずしも一貫性は問われない。ただ、自分のバックグラウンドとこれから勉強したいこと、将来の展望が出願時には言語化し、説明できるようにしましょう。

# Q&A 事前にいただいたご質問への回答（社会人編/その他）

- Q10: 院試において、これまでの学歴・経歴と院で学びたいコースとの合致性はどのように判断されるか？(大学毎の判断か？)

**A:** 応募する大学での審査となります。審査基準は大学・専攻/コースで異なり、一般公開はされていません。

- Q11: 新型コロナウイルス感染拡大での留学への影響は？

- **A:** フィンランドの大学では、来月中旬ころまでリモートでの授業に切り替えて現在も開講しています。秋からの新学期については通常通りの予定です。

# フィンランド留学お役立ちリンク

- StudyinFinland: 大学リスト、出願、留学生活など全般（英語）

<https://www.studyinfinland.fi>

- StuyInfo: 出願（併願）手続き、大学情報等が概要全般（英語）

<https://studyinfo.fi/wp2/en/>

- 教育文化省: 教育制度、政府奨学金（博士号）、統計等（英語）

<https://www.oph.fi/en>

- 日本文部科学省: 奨学金、留学制度等（日本語）

<https://www.jasso.go.jp>

- トビタテ！留学JAPAN:フィンランド留学ガイド（日本語）

<https://tobitate.mext.go.jp/countryguide/finland/>



# KIITOS PALJON!






○フィンランドの高等教育に関する  
オンラインセミナー(Zoom)  
次回(第2回目)は、5/19(火)  
ぜひご参加ください!  
(時間は未定)

最新情報はフィンランドセンターSNSにて!

○春・秋カルチャー留学@フィンランド など



 @finstitutejapan  
 @finstitutejapan  
 @finstitutejp

science@finstitute.jp

www.finstitute.jp



留学経験について  
語っています